

ありがとう 小出小学校

140年の歴史が幕を閉じようとしています。第43代校長として断腸の思いです。

しかし、これも子どもたちの未来のため。閉校という言葉に、どうしてもネガティブなイメージを持っていますが、「チェンジ」を「チャンス」に変え、そして「チャレンジ」する精神で、小出の“今”を全力で取り組んでいきたいと思っています。

けやきっ子たち。新院内小学校では「人・地域の輪」を広げ、小出で育ててきた良さを結束し、院内小児童と「共に」けやきのように大きく育て！

そして小出、院内、釜ヶ台の地域の宝を共有し、合わせる何倍にもなるパワーで、大きな1歩を踏み出してください。



けやきのように大きく育て！

第43代校長 池田弘美

小出小学校閉校記念式典 平成26年11月15日



ありがとうございます 小出小学校

私たちは知っている。すくすく育つ私たちの笑顔を、けやきが見守っていたことを。

私たちは忘れない。学び舎がなくなっても、共に学び、共に笑い、共に語った日々を。

小出びと ～それぞれのメッセージ～



後輩たちへ

戸蒔奎太(右)、戸蒔拓也(左) (百目木)

今年の夏、「小出の夏祭り」が行われ、久しぶりに2人で小学校に行きました。懐かしい写真がたくさんあり、当時、地域の歴史を調べた新聞づくり、わが町新聞コンクールで賞を貰った記憶が鮮明によみがえりました。今でもその新聞は大切にしています。

現在、同じ高校に通い、2人とも野球を頑張っています。将来は、自衛官か消防士になりたいと思っています。後輩たちには、残り少ない小出小での学校生活を、1日1日大事に過ごしてほしいと思っています。



小出生まれ、小出育ち

齋藤信吾・奈緒子 夫妻 (畑)

私たちは、同じ時期に小学校に通っていたせいか、共通する思い出がたくさんあります。小出の歴史を調べ全校児童の前で発表した「ふるさと学習」が印象深く、放送委員会による「のど自慢、7つの鍵、お話し玉手箱」は給食時間の楽しみでした。給食と言えば、中庭での給食は当時のみなさんには共通の思い出ではないでしょうか。

思い出がたくさん的小出小。最後に、夫婦、そして親子で関わられた事に感謝しています。



最後の6年生として

飯尾星音 (立居地)

今年は、「最後」「ラスト」という行事がたくさんありました。6年生を先頭にけやきっ子全員で行事を大成功させようと懸命に頑張りと、ひとつの行事が終わるとホッとする気持ちと、寂しさがこみ上げ、最後の6年生という実感がわいてきました。

僕は小出小、けやきっ子が大好きです。在校生のみなさんも、けやきっ子らしく院内小でも、たくさん思い出をつくってほしいです。



4世代にわたりありがとう

佐々木家(塚) 春一(86)和夫(60) 和紀(37) 楓(11)

私たちは、親子4世代にわたり小出小学校で学び、育ちました。校舎こそ世代で違いはあるものの、白雪川を渡り学校へ行く道りは遠かったなあと4人の気持ちは同じです。稼業は4代目(和紀)が受け継いでいますが、5代目(楓)はどうでしょうか…。2代目(春一)の時に御神輿をつくり、学校に寄付しました。昔、小出小祭りでその神輿が活躍し、今年の夏祭りでは最後の活躍の場を与えて頂きました。(以上:3代目 和夫談)

小出小、長い間ありがとうございました。